



感性を磨く!

美し春の



Sensation Emotion

みんなは、校内に咲く花を見て何を思うのでしょうか?
 “あの花はきれいだな。” “あの花は赤いな。おかしなところには咲く花の存在
 には気付かない人っているかもしれません。前者を「感情」、後者を「感覚」と
 でも言うのでしょうか... 同じ感じ方でも随分ちがいますね。

時々テレビで飢餓に苦しむ人の姿を目にすることがあります。ある人がこんな
 とも言っていました。「難民キャンプを目にした子どもたちは、泣きも笑いもない。子どもら、若狭式に成り下が
 くて人形のように見えるのです」 飢餓という過酷な状況が人間本来の持つ感情も思考も奪ってしまっているの
 か...。彼らにとっての“生きる”ことの意味は、“食べる”こと以外の何物でもなく。“明日”という未来に望むものの
 像でしかないのでしょうか...

それは私たちはどうでしょう。明日はどんな楽しいことがあるのだろうか。宿題うざいなあ。明日の給食は何だろう...
 いろんな想像ができる。羨む、自分と幸せだと感じます。悲しい時に泣き、嬉しい時は笑い、時には悩んだり... 人間
 の持つ感情を失うことになったら... 考えたら怖いです。

“美しいものを美しい”と思える人になりたい。“美しい人を美しい”と思える人になりたい。人形に感情はないけれど人間には
 “感情を表現する”という素晴らしい能力があります。決してお飾りではありません。みんなには、どんな心で耕してほしいと
 思っています。大切なのは、いつでも“無関心”なことですよ。

感性を磨くこと

教室の机がいつも机に並んでいるのはなぜでしょう。トイレのスリッパがきちんと
 並んでいるのはなぜでしょう。花が風に咲いているのはなぜでしょう。

道端に咲くきれいな花に気付く心。廊下に落ちているゴミに気付く心。“きれいだなあ。” “拾おう。” そんな豊かな
 感性を磨いてほしいのです。

菊池台、明日の道、菊池の心

響かせてほしい!“北中校歌”

2月も残りとうとう1週間です。海王星にとっては中学校生活最後の日
 とする卒業証書授与式が近づいてきました。卒業する3年生にとっても、
 そして、2年生にとっても大切な行事です。厳粛な儀式の様子を見れば
 その学校の様子がわかると言われます。多くの学校行事で成果をあげて
 きた北中ですから、この卒業式も失敗することはできません。いよいよ今週からは卒業式に向けた合唱の練習もス
 タートしました。帰学後15分間、全校のパートに分かれて一生懸命練習に励んでいます。11月の合唱コンクール
 時の感動がよみがえります。



どうして君たちは北中の校歌が好きですか? 私は大好きです。これは由緒長い北中に君たちが歌う校歌を聴い
 てきました。北中のシンボルであり誇りにあるこの校歌を君たちには大切にしていってほしいなあと思っています。特に3年生は
 中学校生活のカウントダウンが始まり、いろいろなラストを迎えています。教室で友達と話したり、給食を食べたり運
 動したりしてきた“あたり前の日常”が、平凡で自然で何気ない毎日が本当に貴重なものだった!! ということも、今さ
 とおみしていることだと思います。中学校卒業する3年生には最後に歌う母校の校歌を、誇りと持って全力で
 歌い、胸を張って母校を築いてほしい。在校生には、北中の伝統として先輩の意志を受け継ぐ覚悟を持って全力で
 歌って先輩たちを見送ってほしい。そう願っています。(いつか機会があれば、私の母校である合志中の校歌をも
 披露しよう!! 私の初任で通った学校(菊池中)の校歌は私の教師としてのバイブルになっています!!)